

# 増穂だより



芝浦工業大学柏中学高等学校 〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地  
TEL : 04-7174-3100(代) FAX : 04-7176-1741  
URL <http://www.ka.shibaura-it.ac.jp/>

■編集 / 芝浦工業大学柏中学高等学校 総務部  
■発行日 / 平成31年3月23日 発行  
■印刷 / 株式会社横浜総合写真



青空、ひとりきり。

## Contents

■巻頭 (副校長) .....	2P	■学年情報 (中学) .....	7P
■各部情報		■学年情報 (高校) .....	8P
(生徒/厚生/保健室/事務室/クオレ/図書室) .....	3P	■PTA・後援部情報 .....	9P
■各部情報 (グローバル委員会/研究) .....	4P	■中学合唱祭 .....	10P
■教科情報 (美術/数学/社会/書き初め展) .....	5P	■高校第37期生卒業 .....	11P
■生徒会情報 (中学/高校)		■部活情報 (弓道/演劇/吹奏楽/水泳)	
/全国中学高校Webコンテスト (中学/高校) .....	6P	/あとがき .....	12P

# プラスチックとの向き合い方

副校長 久保田 剛司

みなさん、右の写真を見たことはありますか。2015年8月、中米コスタリカ沖でウミガメの生態調査に当たっていたアメリカの研究者チームが、鼻腔にプラスチックストローが突き刺さったカメを発見し、ペンチでストローを引っ張り出す様子を記録した動画が投稿されてネット上で話題となりました。10センチ近いストローが引っ張り出されるまで約10分、カメが血を流しながら苦しむ様子には胸を締めつけられます。ストローがどうやってカメの鼻腔に入ったのかは不明ですが、海底にいる甲殻類を捕食するために獲物と一緒にストローを吸い込んでしまったのでしょうか。その際、喉に詰まったストローを吐き戻そうとして偶然気道に入り込み、鼻腔に詰まってしまったのかも知れません。この研究者によれば、ビニール袋や歯ブラシなどがウミガメの胃の中から見つかることは珍しくないといえます。



昨年8月、神奈川県由比ヶ浜に体長約10mのシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられました。クジラ研究を専門とする国立科学博物館の研究者が調べてみると、胃の中からかなりの量のプラスチック片が見つかりました。母乳しか飲んでいない乳呑み児の胃からプラゴミが見つかるということは、海中のプラゴミの増加が深刻であることを示唆しています。研究者によれば、この現象は今に始まったことではなく、すでに23年前に調査した歯クジラの胃から、大きなゴミ袋いっぱいプラゴミが見つかっていました。主食であるイカと間違えて飲んでしまい、消化されないために胃に溜まっていったものと考えられます。

今やプラスチック汚染は世界中の海に広がっています。2016年の世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）では、世界で年間800万トンのプラスチックゴミが海に流出しているという報告書が示されました。そこには、2050年までに海中のプラスチックゴミが世界中の魚の総重量を超える、という驚くべき警告も含まれていました。世界各国から流出したプラスチックゴミは、海流に乗って特定の海域に集まってきました。太平洋では、カリフォルニア沖からハワイ沖にかけて、アジアや北アメリカなどの国々からのゴミが集まる「太平洋ゴミベルト」が広がっています。その面積は日本の4倍超の約160万平方キロに及び、プラスチックゴミの総重量は7.9万トンと推計されています。生態系への影響は、冒頭の高ガメやクジラに留まらず、プラスチックゴミがサンゴを傷つけた結果、サンゴの壊死などにつながる感染症のリスクが20倍以上に高まるという研究も報告されています。

こうした大きなプラゴミ以上に問題となっているのが、海中に流出したプラゴミが紫外線によって劣化し、5mm以下に砕けたマイクロプラスチックです。例えば、お台場の砂浜の砂をビーカーに一握り入れ、水を加えてかき混ぜると、水面にマイクロプラスチックが浮かんできます。主にレジ袋やペットボトルのフタが細かく砕けたものです。こうしたマイクロプラスチックは、海水中に溶けている有害化学物質を吸着し、それを飲み込んだ小魚から食物連鎖を経て、人間

にまで有害化学物質が濃縮されて届いている可能性が指摘されています。イギリス・ブルネル大学などが英国のスーパー8店で売られている貝を調査したところ、すべての店の貝からマイクロプラスチックが検出されました。東京農工大学の研究者も、東京湾で採れたイワシなどから検出しています。また、アメリカ・ミネソタ大学が、アメリカ、イギリス、キューバ、インドなど14カ国159カ所の水道水を調べたところ、イタリアを除く13カ国の水道水にマイクロプラスチックが含まれていました。そして、マイクロプラスチックは既に人間の体内に入り込んでいます。オーストラリアの研究チームが、日本、イギリス、オーストラリア、フィンランド、イタリア、ロシア、ポーランド、オランダの計8人の大便を調べたところ、そのすべてからマイクロプラスチックが検出されたのです。現状ではデータが十分ではないため、有害かどうか判断するのは時期尚早とされていますが、魚を食べる海鳥の体内にマイクロプラスチックが原因とみられる有害物質が蓄積していることが明らかになっています。こうしたプラゴミが海の中に残り続ける期間は、アメリカ海洋大気局の資料によればレジ袋で1～20年、発泡プラスチックカップで50年、ペットボトルに至っては450年に及ぶとされています。日本ではリサイクルの優等生とされリサイクル率が9割に達しているペットボトルですが、年間約200億本が販売されているので、実は20億本ものペットボトルが未回収となって環境中に遺棄され、河川を經由して海に流れ込んでいるのです。

軽くて丈夫なうえに安価なプラスチックは約50年前から急速に普及し、今や生活に欠かせない存在です。日本人が年間に廃棄する家庭プラゴミは一人当たり32kg、これは世界第2位の量で、2017年には産業系廃プラゴミと合せて日本全体で907万トンに上りました。1980年当時は326万トンでしたから、3倍近い量です。廃棄されたプラゴミの約半分に当たる家庭から出たゴミは地方自治体が収集していますが、企業などが廃棄した産業系廃プラゴミは廃棄物処理業者が有料で回収しています。実は今、この産業系廃プラゴミの処理が危機に瀕しているのです。これまで世界のプラゴミの半分を輸入してきた中国が、2017年から大気汚染・水質汚染といった深刻な環境問題を理由に、輸入禁止に踏み切ったのです。日本各地の廃棄物処理業者のストックヤードには処理しきれないプラゴミが溢れ、一部は焼却処理に回さざるを得ない状況が続いています。プラスチックの原料は石油ですから、焼却すれば当然CO<sub>2</sub>が排出され、環境に負荷を掛けることとなります。これまで輸出によって得られていた利益が無くなったうえに焼却に要する経費がかさむため、当然処理費用の値上げをせざるを得ず、ひいてはメーカーの製品価格に転嫁される結果となるのです。まさにプラスチックゴミを巡る負の連鎖に他なりません。

生活に欠かせないプラスチック、私たちに出来ることはその「総量を減らす」ことしかありません。日常生活の中で何が出来るかを考え、今すぐ実行してみませんか。

〔出典：朝日新聞19.2.17朝刊、TV東京「ガイアの夜明け」19.1.15放送より〕

# 各部情報

## 生徒部 1年間を振り返って

今年度も終わりが近づいてきました。振り返って見ますと、いろいろな学校行事で、生徒の皆さんが頑張ってくれ取り組んでくれたことが印象的でした。先輩方からの申し伝えに従って、さらに工夫をしてよりよくなっている印象がありました。

一方で、毎年度のことですが、マナーの点でお叱りをうけることが今年度もありました。客観的に自分たちの振る舞いを見ることができるようになって欲しいと思います。そして、自分たちが悪かったら素直に謝ることができるようになって欲しいと思います。

さて、春休みですが、相変わらず世間ではSNSがらみで犯罪に巻き込まれる事件がおきています。見ず知らずの人に会おうといわれても、絶対会わないようにしましょう。

それから、春の交通安全運動もあります。とくに自転車の乗り方に注意してください。

## 事務室 年度末のご連絡とお願い

### 【ご連絡】

新年度の授業に間に合わせるべく、高校棟内教室の黒板をプロジェクター投影汎用白板にリニューアルします。

### 【生徒の皆さんへお願い】

1. 忘れ物・落とし物がたまっています。何か足りない気づいたら、まずは事務室に届けられていないか確認に来てください。
2. 春休みに向けて「JR学割証」が必要な人も増えることでしょう。それに限らず、春休み期間中の諸証明書類の発行申請は、生徒証を持参のうえ、原則的に以下の時間内をお願いします。

◆月～金曜日 9:00～16:00

◆土曜日 9:00～14:00

3. 春休み期間中はスクールバスを特別時刻表に基づいて運行します。利用に際しては、発車時刻等についてウェブサイト・掲示等で確認してください。

## 厚生部 厚生部より

厚生部では、生徒や教職員の健康を推進し、安全を確保するために、1年間様々な取り組みをしてきました。

夏休みは熱中症予防のために、校内外の温度や湿度を測定し、基準値を超えた場合は部活顧問に注意を喚起しました。

また、冬休みの一斉休暇中（生徒が校内に入れない期間）に、グリーンホール、化学室、化学準備室、印刷室の室内物質検査を実施しました。一定時間部屋を密閉し、専用キットを用いてホルムアルデヒドなど6項目の化学物質濃度を測定し、専門機関に分析を依頼しました。その結果、いずれも基準値を下回る旨、報告が届きましたので、今後も安心して使用できます。これからも快適な学校生活のために、様々な取り組みを実施していきたいと思っています。

春休みは気候も良く、心身のリフレッシュに適した季節です。規則正しい生活を心掛け、新年度に向けて体調を整えてください。

## クオレ 「公認心理師」をご存じですか

「公認心理師」という名称を聞いたことがありますか。実は、昨年誕生した新しい資格であり、心理学の分野としては初めての国家資格でもあります。国家資格となったことで、職域の拡大や心理学の様々な分野のさらなる発展が期待されています。

カウンセラーや心理学者などの人の心を対象とする職業は「20年後も残る職業」と言われています。どんなにコンピューターやAI技術が進化しようとも、代わることが難しい分野と考えられています。それだけ、人の心は未知なるもの、不思議なものと言えるのでしょうか。

国家資格化されたことを期に、改めて基本に戻りたいと感じています。カウンセラーの基本は、しっかりと相手の話を聴くこと、心に寄り添うこと。この基本を大切にしながら、これからも多くの方々に会っていきたくと思っています。

## 保健室 自然の持つ癒し効果

春の気配が感じられる季節になりました。春は、冬の間眠っていた草木が芽吹き、花が咲く美しい季節です。

森の中を歩くと、気持ちがよいと感じることがありますが、科学的にも樹木の香りや落ち着いた環境などによって、ストレスホルモンの減少やリラックス効果、がんの予防効果、免疫力アップ効果があることが証明されています。

森林に限らず、花や木材を見ることや、その香りにもリラックス効果があることがわかっています。近くに森林がない場合でも、花や観葉植物を飾ったり、公園に行ってみたりなど、身近にある自然の持つ癒し効果を上手に利用していけるといいですね。

さて、新学期が始まるとすぐに健康診断があります。時間に余裕のある春休みの内に、むし歯の治療や視力矯正、ケガや体調で気になることがあれば受診をしておきましょう。

## 図書室 春休みのお知らせ

今年度も多くの生徒さんの図書室利用がありました。

200冊以上貸出2人、100冊以上貸出10人、50冊以上貸出31人とみなさん意欲的に読書をしています。

芝柏図書室は今話題の本から勉強に役立つ本まで、欲しい本が沢山あります。まだ本を借りたことがない生徒さん、来年度図書室でお待ちしています！

春休みも授業日と同様の時間帯で開室していますのでぜひご利用ください。

図書室で春休みの宿題を済ませ、新学年に備えましょう。

※4月4日(木)・5日(金)はシステムデータ更新処理の為、閉室いたします。

◆春休み開室日時

月～土 9:00～17:00

◆春休み特別貸出し：3月13日(水)～30日(土)

☆1人5冊まで

◆閉室日：4月4日(木)・5日(金)

◆特別貸出し返却日：4月6日(土)

## 各部情報

### グローバル委員会 短期留学総合説明会

2月16日(土)本校グリーンホールにて短期留学総合説明会を行いました。説明会には保護者の皆さま、生徒自身が多数参加し、グリーンホールがほぼ満席の状態の中、イギリス・オーストラリア・カナダ・アメリカ各コースの日程や内容についての概要を報告させていただきました。参加者みなさんは非常に熱心に各プログラムに耳を傾けて頂き、質問等も活発にいただける等、近年の官民中心に社会総出の留学支援熱の高まりをひしひしと感ずることができる説明会でした。

生徒はご家庭や学校等での教えや経験を通じて昨日より今日、今日より明日と日々成長してゆきます。成長を促す環境や条件は生徒個々に異なります。生徒個人の好みもあるでしょう。本校が紹介させていただき短期留学プログラムが、生徒自身の成長を促す選択肢の一つとして認知していただき実際に参加していただくことで、「ちょっと刺激受けてきたな〜」そんな経験を生徒が留学を通じて体験し、海外に出発前と帰国後で生徒自身の成長を感じて頂けたら嬉しいです。



### 高大接続プログラム・ニュージーランドホームステイ

昨年度より始まったこのホームステイプログラムに、芝浦工業大学に進学する生徒のうち2名が選ばれ、2月2日より2月16日までの15日間 Auckland Institute of Studiesにて学びました。帰国後、この2人に話を聞いてみると、現地に着いて1週間も経つと英語が聞き取れるようになってきて、英語を学ぶ大切さ・楽しさを感じ、英語を使うことへのためらいもなくなったとのこと。また、後輩へこの留学を進めたいと語ってくれました。



### 研究部

#### SSH再指定～新たな出発へ

2月23日土曜日、今年度の課題研究発表会が行われた。今年度はSSHの再指定一年目ということで、SSH成果発表会と併せての大規模な会となった。発表を行った生徒数も、課題研究に一年間取り組んだ2年生85名、半年取り組んだ1年生82名と例年より大幅に増え、当日はさらに、3月のSSHベトナム研修に参加する15名、中高ウェブコンテストのファイナリスト10名、中学の自由研究の優秀作品7名も加わり、大変にぎやかな発表会となった。

当日はまず午前中、数学の授業研究会が6会場、また化学の探究指導研究会が化学実験室で行われ、それぞれ30名程度の校外の先生方が参加され、熱心な研究が行われた。そして午後からは大学の先生方や多数の保護者の皆さんも加わり、グリーンホールで全体会が行われた。

まず昨年12月の第62回日本学生科学賞で日本科学未来



館賞を受賞し、本年5月にアメリカで行われるISEFの日本代表として参加予定の、科学部2年の武藤美祐さんの「大粒アラゴナイトの生成条件」についての素晴らしい研究発表を聞いた。その後5会場に分かれて、パワーポイントを用いた2年生中心の口頭発表、次いで別の4会場での1年生中心のポスター発表と、盛り沢山の日程で一日を終えた。

本校では、前回のSSH以来継承されてきたこの課題研究を、新学習指導要領の目玉の一つである探究活動へと深化・発展させるべく、引き続き研究を続けていく所存です。



## 教科情報

### 美術科 全日本学生美術展 結果報告

美術教科では毎年、普段の授業作品を全日本学生美術展に出品しています。全日本美術展は昭和31年から始まり今年で62回を数える歴史ある美術展です。幼年から高校生まで全国から、学校、絵画教室など多くの団体が参加するコンクール形式の公募展です。

今年は全国から6028点の作品の応募がありました。高校芸術選択美術教科では事前に19点、中学では10点優秀な作品を選び応募しました。結果、高校は過去最高の9人受賞をいたしました。賞は順番に最高賞(推奨)次に、(特選)、(佳作)とあり、受賞作品のみ上野の都立美術館に展示されました。

今回、推奨受賞は1年4組小柴大輝君、特選受賞は1年5組松島諒君、佳作受賞は1年1組小橋洋平君、1年4組中島結音さん、畑谷季輝君、大宮純音さん、1年6組秋山真凛さん、1年7組吉尾創太君、1年8組前山稜君が受賞しました。

惜しくも選外であった作品も受賞してもおかしくない、優秀な作品が多くあり、昨年に続き、普段の授業の取り組みの成果が受賞に繋がったと確信しています。

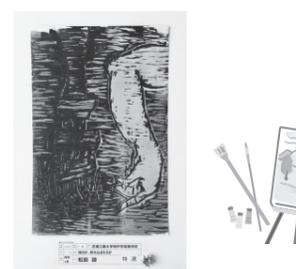
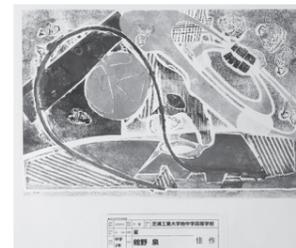
中学の部では中学2年B組の館野泉君が唯一佳作賞に受賞しました。宇宙的テーマで形や色合いが大人っぽく刷り上げることが出来たのが、勝因だと思います。

高校は木版画、中2は紙版画と共に



版画でコンクールに出品しています。版画作品が面白い作品が出来易いのでカキラムに組まれています。版画の特徴として最終的には刷の良さで出来具合の違いが出ます。高校生は多色で工夫している子が多く、刷も良く粘っていました。

更に来年も挑戦していきたいと思います。



### 数学科

#### 算額コンクール受賞・授業公開実施

NPO和算が主催する「第21回算額を作ろうコンクール」において、本校中学3年生の石井孝典君が銅賞(吉田光由賞)を受賞しました。算額とは日本の独自の数学である「和算」の文化の一つで、学びへの感謝の気持ちをこめて、問いや解(術)を寺社仏閣に奉納していたものです。

問いを解く力も大切ですが、問いを「自ら作る」力は、解くことでは得られない大切な力です。今後このような力が世の中に役立つことは間違いありません。大切にしたい取り組みです。

さて、先日SSH報告会の午前中に、本校教員6名による公開授業と授業検討会を行いました。近隣地域の中高の先生方から遠方の大学の先生方まで、広くご参加頂き、各授業の内容について分散会で議論が行われました。今回が3回目となりましたが、生徒達の授業に還元できるよう継続して実施したいと思います。

### 社会科

#### 第16回新聞切り抜き作品コンクール

東京新聞主催の第16回新聞切り抜き作品コンクールにおいて、2年A組樋口翔也君が優秀賞、2年C組高見陽菜さんが入選、2年C組大滝直香さんが努力賞を受賞しました。2月17日(日)に、東京都港区の品川フロントビルにおいて入選以上の受賞者の授賞式が開催されました。このコンクールでは、自分で決めたテーマに沿って新聞記事を集め、それらの新聞記事にコメントをつけて、模造紙に貼り、作品を作ります。多くの新聞記事を集める過程でテーマに関する知識や理解を深めることができ、自ら情報を集めて理解を深める力が養われます。



### 書き初め展

#### 中高書き初め展参加結果

2018年度の書初め展の結果は、中学1年が書屋賞、特選に選ばれた割合が多かった。席書会へは、中学3年から高島歩陸君、三好香穂さんの2名が選ばれ、特に三好さんは鴨川市長賞を獲得した。また、中学校は「第71回千葉県小中高書き初め展団体優秀賞」を受けた。

課題は中1が「香る梅花」、中2が「白雪の富士」、中3が「世紀の祭典」。高校漢字は「春桃散紅煙」であった。新しい年の初めに、元気に伸び伸びと力強く、しかも行書で伸びやかに書いた作品が多く選ばれた。



## 生徒会情報

### 中学

#### 来年度の生徒会メンバーが決まりました

去る2月16日(土)に、中学生徒会選挙が行われ、来年度のメンバーが決まりました。

生徒会長は新中3の石井陽将君、副会長は新中3が木幡有翔君、新中2が高橋優斗君、書記は新中3が秋山陽介君、新中2が矢島ほのかさん、会計は新中3が長谷部光君、新中2が田中菜さんに決まりました。新中3の会計は立候補者がおらず選挙後に新会長の推薦により決まりましたが、それ以外は立候補者が出て、さらに会長、副会長には複数の生徒が立候補するなど、なかなか積極的な生徒が多いので、大変楽しみです。

中学生徒会の大きな仕事は、年度当初の新人生歓迎会と5月の生徒総会です。生徒総会は、来年度の部活動の年度予算を決める重要な仕事ですし、生徒から学校への要望を吸い上げる重要な機会となります。

ぜひ新役員も積極的取り組んでくれることを期待しています。



### 高校

#### 高校生徒会情報

昨年12月末に第39回生徒会選挙が行われ、新生徒会長には1-7の鈴木皐仁君、副会長には1-4大宮純音さん、1-8柏崎光汰君が信任されました。その後の生徒会役員選考は難航したようですが、最終的には一緒に苦労を惜まず、学校を良くしたいと思っている同志を見つけることができたようです。認証式にて校長先生から、君たちに一部権限を与える、学校を良くするために自分たちで考えて行動してほしい、というお言葉を頂き、改めて責任の重さと、やってやるぞ!という気持ちが芽生えたことかと思えます。

現生徒会の38期生は、無事に『柏樹』を作成し終えることができました。現在は来年度への引き継ぎの準備中です。定期試験、模試、研究発表、部活動と多忙の中、いつも一生懸命頑張ってくれた役員には頭が下がる思いです。この意欲次は受験勉強に変えて、今度は自分の未来のために努力してくれることを期待しております。38期の役員の皆さん、1年間お疲れ様でした。そして39期の役員の皆さん、1年間頑張ろうっ!



## ◇ 全国中学高校 Web コンテスト ◇

### 中学

#### Web コンテスト授賞式に参加して

今年中学からは2チームが出席をし、「おとは～周波と生活の関係性～」(白田・木村・嶋崎・渡邊・大森)が金賞を、「LGBT～個性を尊重しあえる社会～」(ヤシャレビッチ・大保・飯村)がプラチナ賞・最優秀賞・文部科学大臣賞をいただきました。どちらもHPをゼロから作成し、内容も自分たちが学んだことを自分たちの言葉で発表しまとめ上げたものです。今回の受賞はその功績がたたえられました。LGBTという繊細なテーマに、最初は心配もしたのですが、審査委員の方々には、“自分たちの足で色々なことを調べ、たくさんの人に会ってインタビューをし、実際に議論を行ったり、アンケートをまとめたり、と、調べ学習にとどまらない学習が出来ており、素晴らしいですね”と言われました。授賞式の後は懇親会もあり、OB、OGの方々にお話を聞いたり、他の学校の生徒と話しが出来たりと、有意義な時間を過ごさせていただきました。アンケートに協力していただいた皆様、ありがとうございました。是非、いろいろな方々に彼女らのHPを見ていただきたく願います。



### 高校

#### 創造性と受動性

2月16日(土)にファイナリストプレゼンテーションが行われ、本校から参加したチームは、高校2年生の『自転車のススメ』が金賞及びベストドメインネーミング賞、高校1年生の『ゲノム編集と“いのち”デザイン』が金賞を受賞した。当コンテストでは、探求内容の充実に加え、Webサイトでの伝え方の工夫が評価される。自分なりに研究を深めること、他者の立場を想定して伝えること、何よりもチームメンバーとの綿密なコミュニケーションなくしてより良いWebサイトは完成しない。完成した作品が金賞という形で報われたことはもちろん、完成に至るまでの過程にこそ、各々にとっての意味内容が隠されているのだろう。きっと彼らは、賞をとるために頑張ったというよりも、自己の内面からほとぼる得体のしれないエネルギーに衝き動かされていたに違いない。こうした、頭= headの導きによってではなく、心= heartの声に従って“生きられる時間”を過ごす生徒の姿からは、文化の兆しが垣間見える。ともすれば即物的な思考に走りがちな文明社会を“生きる”ことと、純粋な好奇心に基づいて“生きられる時間”を過ごすことの違いは何か。それはきっと、未来から逆算した今を“生きる”のではなく、過去も未来もない純粋な今を、いわば受動的に“生きられる”ことの差なのではないか。人間存在の徹底的な受動性の上でこそ、主体性と創造性が宿るのだとすれば、我々教員の役割は、生徒が徹底的に受動的な開かれた状態へと導くことなのかもしれない。

## 中学 : 学年情報

### 中学1年

#### 「二年目に向けて」

学年目標「ともに探究し、思いやりのある仲間」のもとに中学20期がスタートして、一年がたちました。保護者の皆様には、毎日生徒たちを元気に学校へ送りだしていただき、ありがとうございました。この一年、あつという間だった人もいれば、長かったと感じる人もいます。特に試練や苦難の中にいる生徒にとっては、より長く感じたことでしょう。一年前と比べると、それぞれの体格は確実に大きくなり、顔つきもひきまわって、この一年の成長を感じる一方で、生徒たちの心の成長は時に立ち止まって自分と向き合い、時に後退したりを繰り返し、まだまだ成長途中にあるようです。その時の感情に任せた言動によって仲間を傷つけてしまったり、周囲の目を気にして自分らしく振る舞えなかったり、友人と合わせていくことに疲れてしまったりとこの一年、新たな人間関係を築いていっただけでも生徒たちにとってはそれなりの苦労があったと思います。そういった苦労の中で、芝柏での居心地のよい場所を探すことは、生徒たちには大変でありながらも必要な作業であったと考えております。

さて、学年目標の「探究」にむけて、一人ひとりが夢中になれるものや目標を見つけることはできたでしょうか。今年度、あらゆる場面で生徒たちの言動が活発であったことは、この学年の強みと捉えています。この活発な雰囲気は次年度以降も持ち続けてくれることを期待します。また、「思いやりのある仲間」にむけて、相手の気持ちになって考え、お互いを認め合い、ともに協力できるような集団づくりを目指していきたいと思えます。

次年度以降も、学年として考えること、目指していること、そしてお願いしたいこと等を共有させていただき、少しでも生徒たちが有意義な学校生活を送れるように手助けしていきたいと考えております。どうぞ、よろしく願います。

### 中学2年

#### 成熟した個と集団へ

2月中旬、中学2年生は職場体験に行ってきました。普段は、自分の興味関心のある職業や学問分野からのみ進路について考えることが多いと思いますが、この職場体験ではその枠を少し越えて、いつもとは違った視点から社会や職業、そしていまの自分を見つめるよい機会になったのではないかと思います。たった1日の体験ではありましたが、右も左も分からない環境の中で、仕事=責任を与えられ、様々な形で社会に貢献する人たちとじかに関わり、その人たちの生き方やプロフェッショナルな思考に触れたことは、子どもたちにとってきっと大きな財産になったはずで、この先どんな形であれ、子どもたちの中で、この体験と将来芽吹く何かがつながる瞬間があることをいまは願ってやみません。

18期生が卒業し、いよいよ中学最高学年へと向かいます。過去の卒業生たちを思い浮かべると、果たしてこの19期生も学年として一致団結し、あんなにもたくましくリーダーシップを発揮し、責任感を持って行動する凛々しい姿を見せてくれるのだろうか、ふと考えてしまいますが、きっと大丈夫。頼もしい人、賢い人、優しい人、もの静かな人、ひょうきんな人、おちょこちょいの人・・・それを温かく見守る先生方。どれもすべてそろって1つのチーム。節目の1年、全力でしっかり走り切る心の準備はいいですか?



### 中学3年

#### 卒業しました

中学18期のみなさん、ご卒業おめでとうございます。心身ともに大きく成長した3年間、本当にあつという間でした。保護者の方々におかれましては、3年間ご苦労様でした。そしてありがとうございました。昨日、無事卒業式を終えた中学18期生ですが、学年目標「考動」は出来たでしょうか。そして、高校生になる覚悟は出来ていでしょうか。これからは今までとは大きく違う生活が待っています。今までよりも自分の意志で色々なことを決めていかなければなりません。やらせられている、という気持ちが少しでもあるのであれば、今一度自分の進路を考え直しましょう。すべて自分の意志で行うのがこれからの生活であり、決めるのは自分の意志です。3年後には大学受験が終了します。これは人生のゴールではありませんが、大きな節目となることでしょうか。人生の通過点であるこの節目を真剣にとらえ、考動して行って欲しいと思います。

2月にPTAの方が主催してくださった仕事塾に参加しました。将来どのような仕事に就きたいのか、考えたことと思います。皆さんが書いてくれた仕事レポートにもその気持ちが表れていました。また、WEBコンテストに参加した2チームが素晴らしい賞をいただきました。このように、自分たちの足で歩き始めている人達もたくさんいます。今までいろいろと面倒を見ていただいた周囲の方々、特に身近な人には感謝の気持ちを忘れず、この節目に自分の将来を考え、そしてこれからまた新たな一歩を踏み出して行って欲しいと思います。チーム18期は一度解散します。今度はチーム40期として、みんなで支え合い伸ばしあう、強いチームを作っていきたいと思えます。





## ● 中学合唱祭 ●



第17回 中学合唱祭結果			
金賞	3年D組	桜の季節	
銀賞	3年E組	あなたへ ~旅立ちに寄せるメッセージ~	
銅賞	3年B組	証	
優秀賞(2年)	2年A組	変わらないもの	
優秀賞(1年)	1年A組	大切なもの	
伴奏者賞	3年D組	倉持 万柚子	
指揮者賞	3年D組	坂本 祥	
ポスター大賞	3年C組		



### 合唱祭実行委員長

今年は何年よりも練習期間が短いことが委員会のなかでも心配されていたのですが、実際は例年よりも勝るほどの歌声を響かせ、素晴らしい合唱祭となりました。合唱祭という大きな行事のなかで、私に関わらせていただいたことを本当にありがたく思うと同時に、誇らしく思うことができました。最後に、合唱祭という1日のために1ヶ月以上の練習をしてくれた生徒の皆様、平日という忙しい日にわざわざいらっしやってくださった保護者の皆様、皆様方のおかげで素晴らしい合唱祭をつくり上げることができました。本当にありがとうございました。

## 高校 第37期生卒業

3月2日土曜日、37期生が卒業の日を迎えた。卒業証書授与では、担任の呼名に対して凛とした声で返事をし、しっかり壇上を見据えて登壇していく姿がとても印象的だった。卒業生のこれからのますますの活躍を祈念する。



### 送辞(抄録)

在校生代表

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。在校生一同心よりお祝い申し上げます。先輩方は、学年としてのまとまりがあり、お互いが高めあっている姿が印象的でした。今日、先輩方はこの学校から卒業してしまいます。私達二年生は三年生がいなくなるこの本当の意味をこれから知るといいます。そのことを考えると少し不安があります。しかし、そんな時こそ先輩方に教えられたことを糧にして、最上級生としてあるべき姿を後輩に見せていきたいと思えます。先輩方もこれから高校生活が終わる本当の意味を知るといいます。そして不安を覚えることも、大きな壁にぶつかることもあると思えます。しかし、先輩方は部活の最上級生として、また、学校の最上級生として立派にやってこられた経験があります。この先歩んでいける道に不安があるかもしれませんがその経験を生かしてこれからも私達が目標とする姿で歩んでいけることを信じています。



### 答辞(抄録)

卒業生代表

Always in motion is the future. 未来は絶えず揺れ動く。これは映画スターウォーズのマスターヨーダの言葉であります。未来は揺れ動き予測不可能であります。世界規模でこれまで考えることのできなかったことが起こり、社会情勢は常に変化しています。社会だけでなく、私たち一人一人の環境も変化しています。特にこの一年は未来に不安を持つ人が多かったのではないのでしょうか。しかしヨーダはこう言います。The greatest teacher, failure is. 失敗があるからこそ間違いに気付き成長していくことができます。実際失敗してしまうとこのようなことを考えている余裕もありません。私もそうです。でも今日がどうであろうと明日はやってきます。それならば明日が少しでも良くなるように学び続け成長したいと思います。



Do, or do not. There is no try. 私たちは未来のために失敗から学び続け、成長し続けることを誓います。

### 37期3年生を送る会

卒業式の3日前、2月27日水曜日の5時限目に開催されました。開催に当たっては、早くから準備を進めてくれた実行委員をはじめ、企画ごとに多くの皆さんに協力いただきました。ありがとうございました。会自体は、各部活動のビデオレターや、ダンス部の公演、また、2年生の有志の企画など、1時間と短い時間ではありましたが、和やかに会自体を執り行うことができました。卒業式は終わってしまいましたが、37期の皆さんの活躍が次年度以降にも受け継がれていくよう、また卒業後の活躍を願っています。



## 部活情報

### 弓道部

#### 1年生大会報告

去る2月24日、柏弓道場にて行われた西部地区1年生大会に18名が出場しました。一人ひとりがこれまでの練習成果を発揮し、個人の部で2位(森谷陽香里)、3位(井料武琉)に入賞することができました。

現1年生は日々の出席率も良好で、熱心に練習に取り組む姿勢を大切にしています。今後とも謙虚な姿勢で練習に取り組み、新年度の大会や昇段審査で好成績を残してくれることを大いに期待したいと思います。

新年度、新入生の多くが弓道部に興味を持ってくれるよう、前向きな雰囲気を持った部活動を作り上げていきたいと考えています。



### 演劇部

#### あけおめ!

2019年が明けてすぐの1月9、10日に中高演劇部新春公演を行った。略して「あけおめ公演」。高校は年末に行ったものと同じ作品を更にパワーアップした「変幻戦隊バケレンジャー」を上演。中学はなんと正月早々にホラー作品に挑んだが、総合学習室は満員御礼となり好評を得た。毎回必ず見に来てくれる常連ファンの言葉を励みに次年度も頑張っていきたい。



### 吹奏楽部

#### 吹奏楽部活動の報告

今年度は初の試みとして芝浦工業大学附属中高の文化祭にゲスト出演するなど、様々な活動をしてきました。2月のソロコンクールには中学生が参加し、クラリネット部門で優秀賞、トランペット部門で優良賞を受賞しています。3月2日に挙行された高校卒業式では入退場や表彰時の演奏を担当しました。

4月29日の定期演奏会に向けた練習が佳境に入ってきました。「異国にて」(中)「もののけ姫セレクション」(高)「上を向いて歩こう in swing」(中高)等の演奏を予定しています。ぜひご来場ください。



### 水泳部

#### 水球女子、全国準優勝!!

##### 【全日本ユース水球競技選手権】

2018年12月24日～27日に岡山で行われた第11回全日本ユース(U15)水球競技選手権大会に千葉県選抜として、中3日比絵美理さん、糸賀美枝さん、高1阿部紗也香さん、伊藤知春さん、王山寧佳さん、佐藤優美さんの6名が出場しました。予選リーグで全勝し、ブロック1位で決勝トーナメントに進出。その後も快進撃は続き、強豪・京都選抜に勝利し、決勝戦へ。優勝をかけて石川選抜と対戦するも徐々に引き離され、準優勝となりました。



##### 【ジュニアオリンピック関東予選】

1月に行われた春季ジュニアオリンピック関東予選に中学男子・中学女子チームが出場しました。

##### ○中学女子○

2019年1月27日に秀明大学で関東予選が行われました。神奈川大学附属中、中央大学附属中に勝利し、ブロック1位で全国大会出場権を得ることができました。3月26日～30日に千葉県国際総合水泳場で開催されるジュニアオリンピックに向けて、日々練習に励んでいきます。



##### ○中学男子○

2019年1月13日～14日に城北高校で関東予選が行われました。初戦は桐朋中学校と対戦。10月の大会では惨敗した相手でしたが、前半はゴールを重ね、3点差をつけて後半へ。しかし、ここから徐々に追いつかれ、惜し

くも1点差で敗れました。2戦目は群馬ジュニア水球クラブと対戦。全国大会常連の強豪チームでもあり、力の差を見せつけられて敗退となりました。これで中3が引退となり、中2樋口翔哉くん率いる新チームへと移行します。



#### あとがき

今号の編集は3月2週目、第5回定期考査のサナカ。雨がちな空模様の合間に見えた、深い青の空と、陽に輝く植物を写真に収める(表紙)。生徒諸君がテストに取り組む中、校地はどこもさわやかな静謐さに満たされている。まるで、この世界にひとりきりでいるような錯覚を覚えた。